

PROGRAM NOTE

2009

近藤譲：長短賦

ピアノのための

Trochaic Thought

for Piano

このピアノ曲は、'metre' を素材として作曲されている。'metre' は、音楽用語としては「拍子」だが、しかし、この作曲の場合のそれは、その詩作法の用語としての意味、即ち、「詩脚の配列形式」である。つまり、西洋古典詩の基本的な詩脚の一つである長短格（トロカイオス）になぞらえて、長-短の2音の組み合わせを一単位とし、そこに生じるリズムを基礎素材にして曲全体が作られている。詩脚（或いはそこに由来する「リズム」、つまり「拍子又は「拍子感」）は、それ自体、長音と短音という2つの音価を素材としてそれを組み合わせた一種の「形式」だが、この作品では、その「形式」を素材として（言わば、「メタ素材」として）利用している。

《長短賦》は、井上郷子さんの委嘱で、2009年の1月に作曲され、同年に東京で開かれた彼女のリサイタルで初演された。

近藤譲

初演：2009年3月1日 井上郷子ピアノ・リサイタル#18

（東京オペラシティ・リサイタルホール）

初演者：井上郷子

委嘱：井上郷子

出版：University of York Music Press (UK)

録音：TFCC-1701

演奏時間：8分